

## ○ 環境調査結果（平成26年度）

## (1) 株H I R A Y A M A 実施分

調査項目		実施頻度	結果概要
岡田山の廃棄物 (掘削時)	25項目 (水銀, カドミウム等)	1,000 m <sup>3</sup> ごとに 1回(計44回)	土壤溶出量, 含有量とも基準値以下
改良土 (リサイクル製品)	25項目 (水銀, カドミウム等)	800 m <sup>3</sup> ごとに 1回(計35回)	〃
大気質等	粉じん	年4回	撤去開始前後で変化なし※
	アスベスト		〃
	硫化水素・メタン		検出なし
騒音・振動		〃	撤去開始前後で変化なし※
水質	地下水	年4回	年間平均環境基準値以下
	場内排水		〃
浸出水	26項目 (水銀, カドミウム等)	〃	〃
底質 (事業場出入口付近)	ダイオキシン類	年1回	環境基準値以下

※ 基準等の設定はないため、測定値の年間の推移を確認している。

(2) 本市実施分

調査項目		実施頻度	結果概要
岡田山の廃棄物 (掘削時)	25項目 (水銀, カドミウム等)	月1回	土壤溶出量, 含有量とも基準値以下
	ダイオキシン類	2箇月に1回	環境基準値以下
土壤 (リサイクル製品搬出時の検査)	25項目 (水銀, カドミウム等)	年2回	土壤溶出量, 含有量とも基準値以下
土壤 (汚染洗浄後の検査)	25項目 (水銀, カドミウム等)	年2回	(汚染土壤の受入がないため, 調査を実施していない。)
大気質等	一般大気, 3項目 (二酸化窒素等)	常時	二酸化窒素は京都市環境保全基準値を超過, 微小粒子状物質が環境基準値及び京都市環境保全基準値を超過(1年間の全測定値の一日平均値をもって評価)
	有害大気, 13項目 (水銀, ベンゼン等)	年1回	環境基準値, 京都市環境保全基準値とも基準値以下(環境省が指針値を設定している項目については, 全て同指針値以下)
	粉じん (降下ばいじん)	年4回	京都市環境保全基準値以下
	アスベスト	年1回	撤去事業開始前と同程度の測定値(基準等の設定はない。)
	硫化水素	年1回	規制基準値以下
	メタン	年1回	撤去事業開始前と同程度の測定値(基準等の設定はない。)
騒音・振動		年1回	〃
水質	地下水	年2回	環境基準値, 京都市環境保全基準値とも基準値以下
	地下水 (臨時調査)	1回	〃
	河川水 底質	年2回 (1地点については, 常時監視地点であるため, 年6回) 底質は年1回	〃
ダイオキシン類	大気	年4回	〃
	地下水	年1回	〃
	河川水・底質	年1回	〃
	周辺土壤	年1回	〃

※ 二酸化窒素は名神高速道路の通行車両による影響とみられ, 微小粒子状物質は市内の他の測定地点と同程度の結果であり, いずれも岡田山撤去事業との関連性はないと考えている。